

# 学 校 だ よ り

高知市立高知特別支援学校



TEL (088)843-0579

FAX (088)840-9796

## 「やる気いっぱい 市特のなかま」をめざして

春なのに、もう夏の暑さになっているこの頃です。例年感じるのですが、高知の春は短いですね。さて、本号では、学校教育目標や学校経営方針、本校の研究についてお知らせします。

- 1 教育目標 「やる気いっぱい 市特のなかま」
- 2 願う子どもの姿 ・ 自ら活動する子 ・ かかわり合う子 ・ がんばる子
- 3 願う教職員の姿 子どもの思いに寄り添う教職員

### 4 学校経営方針(5つの経営の柱)

～「みんなが支える・みんなを支える」を合言葉に～

子どもたちが充実した学校生活を送れるよう、全ての教職員が知恵を出し合い、力を合わせ、明るく元気で活力のある学校をめざします。



#### (1) 学校生活の充実 「今を豊かに生きよう」

- ・ 「目当てや見通しが持ちやすいように」、「一人ひとりが精一杯取組めるように」、「共に取り組み、大きな満足感・成就感を分かち合えるように」、主体性を大切にした学校生活の充実を図ります。
- ・ 「個別の教育支援計画」や「個別移行支援計画」に沿って生活や進路についての支援を計画的・組織的に行い、より良い生活につながる支援に努めるとともに、卒業後の生活についても支援の充実を図ります。
- ・ 「個別の指導計画」を生かし、願いや手立てを明確にし、学校生活をより良くするために、保護者と共有できるようにします。
- ・ 保護者との連携を密にして子どもへの思いを共有し、信頼に応える実践とその説明を大切にします。
- ・ 近隣の小・中・高等学校との交流及び共同学習や、旭地区など地域との交流を積極的に行います。

#### (2) 研究・研修の推進 「授業を通して自らを磨こう」

- ・ 発達や障害等に関する研修を推進し、子どもの思いに寄り添う支援の充実に向けて努めていきます。
- ・ 授業研究を中心とした取り組みで豊かな学校生活作りを図るとともに、学級、学年、学部などでの話し合いを支援充実のための場として大切にします。
- ・ 全ての教職員が、それぞれの職種の専門性を高めるための研修に励みます。

#### (3) 学校組織の活性化 「教職員が一体となって子ども(学校)を守り育てよう」

- ・ それぞれの分野で危機管理意識を持ち、事故等への察知・対応力を高め、学校事故を未然に防ぐ手立てを講じます。
- ・ 子どもの安全・安心を守ることを最重要課題とします。
- ・ 学部主事や各部の長が中心となって、各部の間や事務・給食・スクールバス介助等との連絡調整を確実にし、責任ある運営に努めます。
- ・ 会議の効率化、情報の共有化を図ります。
- ・ 子どもの状況などの必要に応じて応援体制を組み、支援や対応に当たります。 (裏面へ続く)

#### (4) 地域支援の推進「地域の良きパートナーをめざそう」

- ・コーディネーターが中心となって校内支援体制の整備を推進し、関係機関との連携を密にして教育相談活動の充実を図ります。
- ・学校公開や運動会、杉の子祭、販売会、自主公開授業研究会等を通して本校の教育実践を公開し、積極的に発信していきます。
- ・近隣の小・中学校との協力や、高知県・高知市特別支援教育研究会等への参加を通じ、学校間の相互理解を深めるとともに教職員の資質の向上を図ります。

#### (5) 学習環境の整備「安全で潤いのある学校にしよう」

- ・子どもたちが健康で安全に活動できるよう施設設備の整備を進めるとともに、校舎内外の環境整備に努めて清潔な生活環境の維持に努めます。

### 5 本校の特色

- (1) 訪問学級では、家庭や医療機関との連携のもと、体調管理に配慮しながら一人ひとりに応じた活動を行うとともに、友達とのかかわりを取り入れた生活単元学習を行います。体調の良いときには、スクーリングを計画・実施します。
- (2) 小学部では生活単元学習(遊びの指導を含む)と日常生活の指導を、中学部では生活単元学習と作業学習を、高等部では作業学習を、それぞれの時間割の中心に据えて学校生活を整えます。
- (3) 子どもたちがが一定期間、一定のテーマを持って、できる限り自分自身の力で主体的に生活できるようにします。運動会や杉の子祭など学校全体で取り組む生活単元学習や、全校集会や春の遠足、卒業生を祝い励ます会などの特別活動は、児童生徒会が中心となって企画・運営します。また、各学級においてもそれらの準備等の活動に取り組みます。
- (4) 卒業後の働く活動を中心とした社会生活に確実につながるよう、働く活動を学校生活に大きく位置付け、社会とかかわる生活を大切にします。教育活動の場を実際の社会に求め、高等部では企業や作業所等における現場実習を積極的に実施します。

### 6 本校の研究

＜研究主題＞子ども一人ひとりが主体的に活動できる授業づくり ～さらなるできる状況づくりをめざして～  
主体的・意欲的に取り組む「くらし」が、子どもたちの今を充実したものにし、将来を豊かに過ごすことにつながります。



本校では、授業実践を積み重ねながら、教育内容や教育方法等を検討しています。本年度も、子どもたちが学校生活の見通しを持ちやすいようにするため、午前中に生活単元学習(含む遊びの指導)や作業学習を位置付けた、いわゆる“横帯状の時間割”として学校生活にまとまりを持たせます。こうした工夫を施しながら、学校生活における「子ども主体」の活動を支える「できる状況づくり」をさらに追究し続けていきます。

なお、本校は高知市研究協力校の指定(3年間)を受けて「領域・教科を合わせた指導」の研究を推進しており、本年度はその最終年度です。平成31年1月26日(土)に研究発表会を開催し、研究の成果を発表する予定です。

1日(火)	水曜校時(14:00 下校)
2日(水)	春の遠足 ※火曜校時です。
8日(火)	特別支援学級・学校交歓会
10日(木)	懇談期間(~31)
11日(金)	防災訓練, PTA役員会
18日(金)	中学部参観日
22日(火)	第1回PTA委員会
23日(水)	小学部参観日 ※金曜校時です。
24日(木)	高等部参観日
25日(金)	全校研 ※水曜校時です。
27日(日)	障害者スポーツ大会(高等部希望者のみ参加)
28日(月)	高3現場実習(~6/8)
31日(木)	小学部5~6年校外宿泊学習(~6/1)